

創立43年



# 本町小だより

令和7年度10月号 令和7年10月1日(水)発行

和光市立本町小学校

Tel 466-0855 Fax 466-0894

Email:honcho@wako-city.ed.jp

児童数 339名

## 本町パワー全開！ ～成長のプロセスを大切にする～

校長 木村 美香

学校では子供たちの元気な声と活気がこれまで以上に満ちあふれています。いよいよ10月4日(土曜日)の運動会が近付いてきました。日に日に日差しが柔らかくなる中、子供たちは本番に向けて一生懸命練習に励んでいます。どの学年も、日に日に上達していく姿に、私たち教職員も胸を熱くしています。

### 運動会スローガン「本町パワー全開！ 心を一つにがんばろう」

さて、今年度の運動会スローガンは、子供たちの思いが詰まった「本町パワー全開！心を一つにがんばろう」に決定しました。本校では、子供たちが学校行事に主体的に関わることを大きな目標としています。このスローガンも、代表委員会が中心となって子供たちからキーワードを募集し、決定したものです。自分たちの手で運動会を創り上げていこうという、頼もしい気持ちが表れています。

スローガンは、学校全体で取り組む大きな行事において、子供たちと教職員が心を合わせ、同じ方向を向くための「旗印」です。「本町パワー全開！」という言葉には、一人ひとりが自分の持つ力を余すことなく出し切りたいという願いが、「心を一つにがんばろう」という言葉には、クラスや学年の垣根を越え、仲間と協力して目標に向かうことの大切さが、それぞれ込められています。

### 大切なのは「結果」より「プロセス」

私たちは、運動会という行事を通して、子供たち一人ひとりの成長を何よりも願っています。もちろん、勝負に勝つ喜びや、練習の成果を出し切れた達成感も素晴らしい経験です。しかし、私たちが最も価値を置いているのは、本番に至るまでの「プロセス」です。

なかなか振り付けが覚えられずに友達と教え合ったこと。団体競技の作戦をクラスで真剣に話し合ったこと。係の仕事に責任をもって取り組んだこと。そうした一つひとつの場面で、子供たちは自ら考え、判断し、行動しています。うまくいかないことに悩み、仲間とぶつかり、それでも乗り越えようと努力する。その主体的に関わったプロセスそのものが、子供たちを何よりも大きく成長させてくれると確信しています。

運動会当日は、順位や出来栄に一喜一憂するのではなく、子供たちが今日まで積み重ねてきた努力の過程に、そして、仲間と協力しながら主体的に躍動する姿に、どうぞ温かいご声援をよろしくお願いいたします。